

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

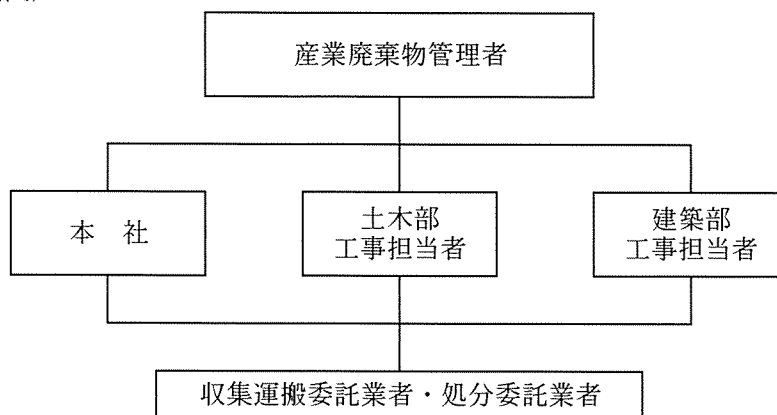
（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 8 年 6 月 10 日	
福島県知事 殿	
	
提出者	
住 所 福島県南相馬市原町区大町三丁目30番地	
氏 名 石川建設工業株式会社 代表取締役社長 石川 俊	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0244-23-6117	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	石川建設工業株式会社
事業場の所在地	福島県南相馬市原町区大町三丁目30番地
計画期間	令和 8年 4月 1日から令和 9年 3月 31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業
② 事業の規模	30億 4千万円（令和7年度完工高）
③ 従業員数	35人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	工事受注→産業廃棄物の有無確認→収集運搬・処分業者の選定→収集運搬・処分業者との契約→マニフェストの発行→各現場→収集運搬→処分業者→処分の確認→現場ごとに集計、5年間保存

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	排出量	1,747 t	841.53 t
	（これまでに実施した取組） 中間処理施設に搬入し、再生路盤材として利用しています		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	排出量	1,000 t	500 t
	（今後実施する予定の取組） 現状通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 再生利用するよう分別しています
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記に同じ

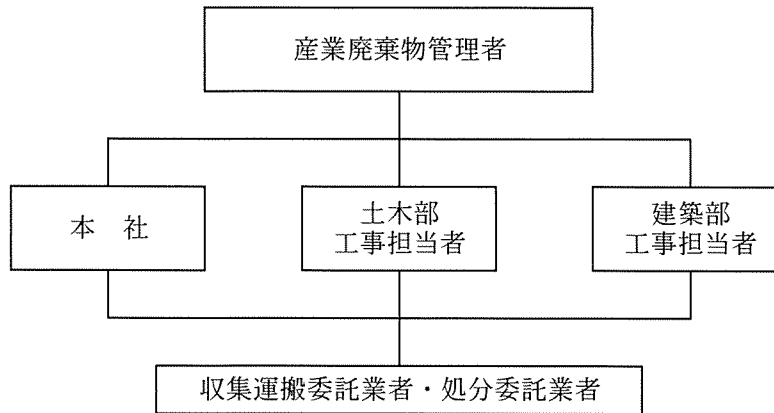
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	全処理委託量	1,747 t	841.53 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,747 t	841.53 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	再生利用するよう分別して処理を委託しています		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	全 処 理 委 託 量	1,000 t	500 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,000 t	500 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	再生利用するよう分別して処理を委託します		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック類
	排 出 量	14.15 t	26.91 t
	（これまでに実施した取組） その他がれき類：中間処理場にて破碎、最終処分場にて安定型埋立をします 廃プラスチック類：中間処理場にて破碎し、資源化できるものはボイラー燃料等にします 再生できないものは、安定型埋立をします		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック類
	排 出 量	1 t	5 t
	（今後実施する予定の取組） 現状通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）	
	再生利用するよう分別しています	
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記に同じ	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
②計画	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

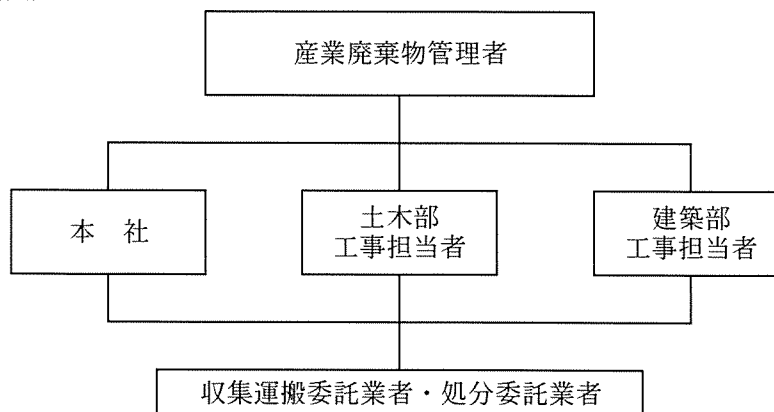
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック類
	全処理委託量	14.15 t	26.91 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	14.15 t	18.7 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	8.21 t
	(これまでに実施した取組)		
	再生利用するよう分別して処理を委託しています		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	5 t	1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	5 t	1 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	再生利用するよう分別して処理を委託します		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	混合安定型
	排出量	10.90 t	3.79 t
	（これまでに実施した取組） 金属くず：圧縮切断し、再生します 混合安定型：中間処理場にて破碎選別をし、最終処分場にて埋立をします		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	混合安定型
	排出量	1 t	0.1 t
	（今後実施する予定の取組） 現状通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 再生利用するよう分別しています
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記に同じ

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	金属くず	混合安定型
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	金属くず	混合安定型
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	金属くず	混合安定型
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	金属くず	混合安定型
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	混合安定型
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	混合安定型
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

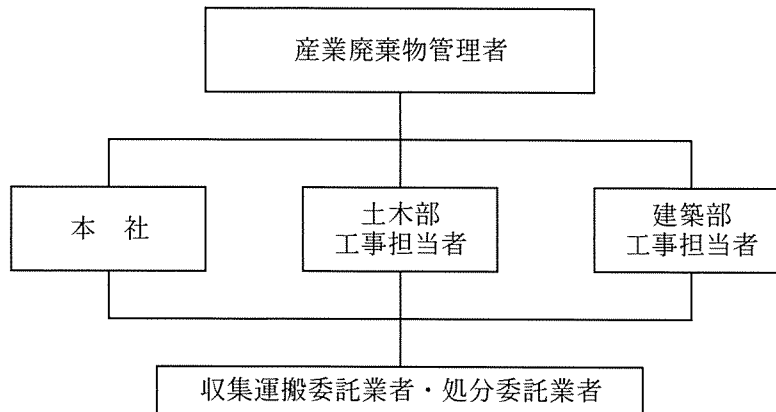
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	混合安定型
	全処理委託量	10.90 t	3.79 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	10.90 t	3.79 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	再生利用するよう分別して処理を委託しています		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	混合安定型
	全処理委託量	1 t	0.1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1 t	0.1 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	再生利用するよう分別して処理を委託します		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	排出量	t	54.4 t
	（これまでに実施した取組） 紙くず：中間処理場にて破碎選別をし、最終処分場にて安定型埋立をします 木くず：燃料用チップやおがくずになるため、できるだけ再生中間処理場を選定します		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	排出量	t	10 t
	（今後実施する予定の取組） 現状通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 再生利用するよう分別しています
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記に同じ

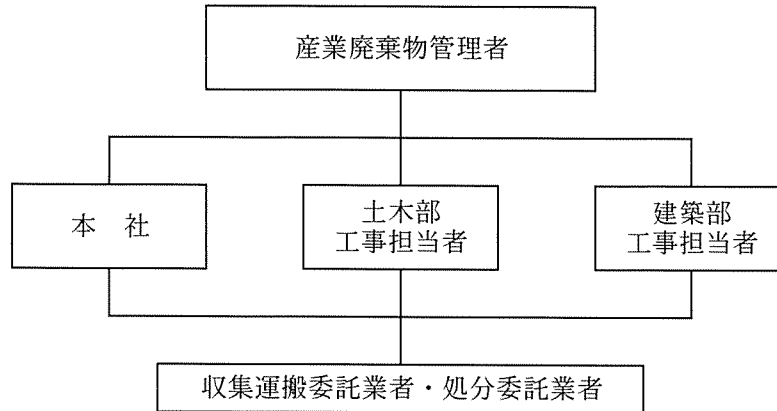
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	紙くず	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	紙くず	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	全処理委託量	t	54.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	48.94 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	5.46 t
	(これまでに実施した取組)		
	再生利用するよう分別して処理を委託しています		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	全処理委託量	t	10 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	10 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	再生利用するよう分別して処理を委託します		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	混合管理型
	排出量	7.3 t	0.99 t
	（これまでに実施した取組） 廃石膏ボード：中間処理場にて粉砕し、燃え殻を最終処分場にて管理型埋立にします 混合管理型：中間処理場にて選別をし、最終処分場にて管理型埋立をします		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	混合管理型
	排出量	0 t	0.1 t
	（今後実施する予定の取組） 現状通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 再生利用するよう分別しています
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記に同じ

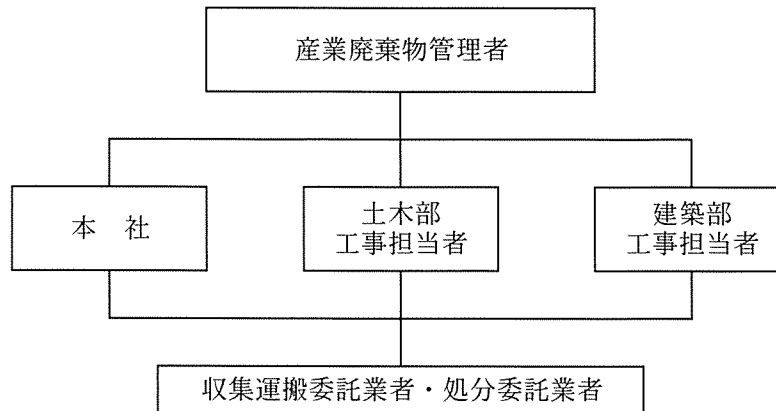
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	混合管理型
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	混合管理型
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	混合管理型
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	混合管理型
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	混合管理型
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	混合管理型
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	混合管理型
	全処理委託量	7.3 t	0.99 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	7.3 t	0.99 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	再生利用するよう分別して処理を委託しています		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	混合管理型
	全 処 理 委 託 量	0 t	0.1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0.1 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	再生利用するよう分別して処理を委託します		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス・陶磁器くず
	排 出 量	4.97 t	0.01 t
	(これまでに実施した取組)		
	繊維くず：中間処理場にて破碎し、資源化できるものはボイラー燃料等にします ガラス・陶磁器くず：中間処理場にて破碎し、最終処分場にて安定型埋立をします		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス・陶磁器くず
	排 出 量	0.5 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	現状通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 再生利用するよう分別しています
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に同じ

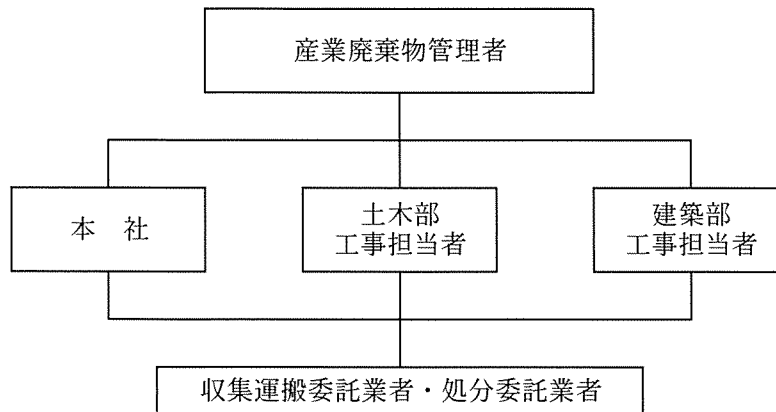
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	4.97 t	0.01 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	4.97 t	0.01 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	再生利用するよう分別して処理を委託しています		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス・陶磁器くず
	全 処 理 委 託 量	0.5 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.5 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	再生利用するよう分別して処理を委託します		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥
	排出量	0.18 t	5.88 t
	(これまでに実施した取組)		
	石綿含有産業廃棄物：適正に処理し、最終処分場にて安定型埋立をします 建設汚泥：適正に処理し、脱水してリサイクルします		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥
	排出量	0 t	1 t
	(今後実施する予定の取組)		
	現状通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 再生利用するよう分別しています
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に同じ

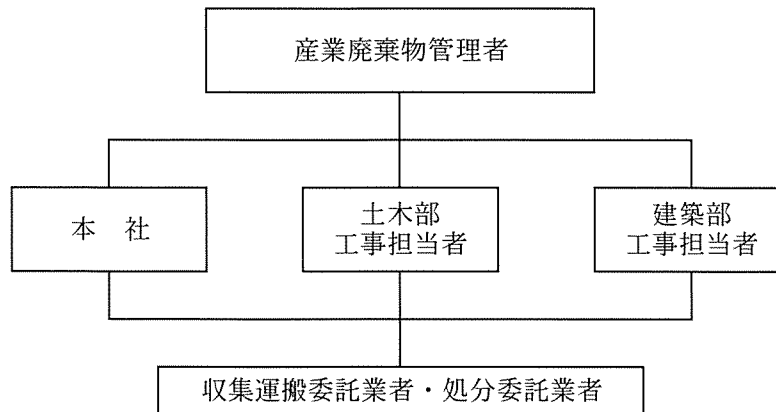
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥
	全処理委託量	0.18 t	5.88 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.18 t	5.88 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	再生利用するよう分別して処理を委託しています		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥
	全処理委託量	0 t	1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	1 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	再生利用するよう分別して処理を委託します		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 令和7 年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類_	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物がれき類
	排 出 量_	0.21 t	6.54 t
	（これまでに実施した取組） 水銀使用製品産業廃棄物：中間処理場にて破碎し、最終処分場にて管理型埋立をします 石綿含有産業廃棄物がれき類：適性に処理し、最終処分場にて管理型埋立をします。		
②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類_	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物がれき類
	排 出 量_	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 現状通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 再生利用するよう分別しています
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記に同じ

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物がれき類
	全処理委託量	0.21 t	6.54 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.21 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	6.54 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	再生利用するよう分別して処理を委託しています		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物がれき類
	全処理委託量	0 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	適正な処理を実施している業者へ委託します		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施工令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。